

2023年7月27日～29日	
メンバー 宍戸(20期)、小林(29期)	
2023/7/27 晴れ	
宍戸車にて 東京6:00ー 沢渡10:00/10:30ー 上高地バス停11:00	
昼食とり11:35発ー 明神池12:15/12:25ー 徳澤13:20	
テント設営 途中で雨が強くなる	
17mm/時(14時)、14mm/時(15時)	
7月28日 晴れ	
徳沢5:30ー 横尾6:30/6:43ー 本谷橋7:58/8:15ー 立て(右又望む)	
8:58/9:15--立て10:05/10:23ー 潤沢ヒュッテ11:03着	
宿泊受付し(13000円/人 夕食。朝食)	
少し外出散歩(30分)	
7月29日晴れ	
潤沢ヒュッテ6:23ー 立て(右俣望む所)7:30/7:42ー 本谷橋8:16/8:42	
ー 横尾9:45/9:58ー 徳沢着10:58 テント撤収 徳沢発12:10	
明神12:55/13:10ー 小梨平13:45着	

感想 29期小林

宍戸さんと二人での山行、何事もなく楽しい山行が出来ました。

まずは往復の車での移動、事故なく良かったです。

山行は計画通り実施できました。

27日徳沢でのテント泊 設営中に大雨に降られ、テント下は水溜りになる。

上着、下着が濡れ大変でした。16時には雨が上がり外に出て乾かす。

ちょっと大変な経験をしました。

28日の本谷橋から涸沢まで2時間コースを2時間30分かけ登る。しんどかったです。

宍戸さんの方が快調でした。

さすが涸沢の景色は素晴らしかったです。

北穂、涸沢槍、奥穂、前穂の3000m級4峰に囲まれた絶景。

涸沢ヒュッテの展望テラスでの景観はGOOD！

84歳と76歳のふたりで、よく登ったと思いますが、もう一日とって穂高に登りたかった

気持ちは残ります。

快適な疲労感を得て、KSTAC紅茶会も楽しみました。

一週間前にトレーニングを兼ねて二人で奥武蔵双子山に登ったのは効果ありました。

感想 20期宍戸

涸沢周辺(涸沢、本谷、右股)は昭和35～38年の夏山定着合宿の場であり、

雪上訓練から岩登りまで幅広い活動を行った思い出の場所である。

涸沢は今ではお年寄りや子供でも入れる手軽な場所になったが、眺める山々は60年

前と変わらず、若い頃を思い出しながらテラスでビールを飲むのは至福の時間である。

今回、小林さんと念願の計画を実行できて大満足でした。

出来れば、山田君の遭難現場(ザイテングラードの取っ付き)迄行きたかったのですが自重して下から手を合わせました。